

広報広聴委員会会議録

招 集

平成30年8月22日（水）午前10時 議会委員会室

出席委員（8人）

（委員長） 伊 藤 ひろえ （副委員長） 稲 田 清
今 城 雅 子 岩 崎 康 朗 奥 岩 浩 基 又 野 史 朗
矢田貝 香 織 山 川 智 帆

欠席委員（0人）

出席した事務局職員

先灘局長 長谷川局次長 足立係長 佐藤主任

傍聴者

石橋議員 岡村議員

協議事件

- 1 議会報告会について
- 2 よなご市議会だよりについて
- 3 その他

~~~~~

### 午前9時58分 開会

○伊藤委員長 それでは広報広聴委員会を開会いたします。

本日は議会報告会について、よなご市議会だよりについて、その他というふうに御協議していただくことになっておりますが、まず協議に入る前に事務局のほうより前回の議会報告会の状況だとか、広報広聴委員会の実施状況など説明をお願いしたいと思います。

長谷川次長。

○長谷川議会事務局次長 まずお手元に資料のほうをお配りしておりますので、その資料の内容を確認していただきたいと思いますが、3つのことに分かれておまして、1つが先日メールのほうでもお送りいたしました広報広聴委員会の資料がつづつてあるもの、それから2つ目が大山町の議会だよりの写真がついているもの、これが3枚あります。3つ目は市議会議会報告会とか議会だよりの要綱を3枚ホッチキスどめにした資料をつけております。

それでは、レジュメに沿って話をさせていただきますけれども、まず1枚はぐっていただきまして、昨年度の広報広聴委員会の実施状況をお話いたします。前回、計14回実施されておりますけれども、そのうち議会報告会のことについて話し合ったのが、7月13日から11月24日までの9回、この9回の議題は議会報告会の内容でございました。あとは議会だよりについてということになります。昨年度の議会報告会でございますが、実施日時、実施場所、報告テーマにつきましては、そこに書いてございますとおりでして、中1回11月18日だけ、ちょっと私、最初金曜日とミスプリントしたんですけども、土曜日ですね、土曜日午後1時半から福米西公民館で実施しております。テーマは市のお金の使い方と議会の役割についてというテーマで実施されております。それから議会報告

会までの主な流れはそちらに書いてございますけれども、基本的には自治連の常任委員会のほうで説明をして、チラシを配って下さいという依頼をして、最終的にチラシのほうを広報広聴委員会で作成して、自治連に配ったという流れでございまして、これで約2カ月という期間でやっております。

それから議会だよりでございしますが、議会だよりは要望どおり2、6、8、11月に発行しております。

それから1枚はぐっていただきまして、昨年度の広報広聴委員会で出された意見というものでございますけれども、私のほうが広報広聴委員会で純粹に出されたものとそれとアンケートの答えのものとまざっております。議会だよりにつきましては、これは全部委員会のほうで出された意見でございます。それから議会報告会につきましては、上から5つ目まで、前回のテーマというところまで、ここまでが委員会の中での話の実績でございます。その後のホームページ等で事前に云々というところから、残りの3つはアンケートの結果でございました。アンケートの結果につきましては、別途資料のほうでつけさせていただいておりますので、ごらんいただいているかと思えます。その議会報告会の括弧の留意事項と書いておりますけれども、これは議会報告会を実施する上で留意する必要があるものについて、去年の結果を見ながらまとめたものであります。昨年のように自治連のほうにお話をするということになれば、次の自治連の常任委員会というのは9月18日だそうですので、9月18日には説明をするということになります。以上です。

**○伊藤委員長** ちょっと駆け足だったですけども、事務局の説明は終わりました。

事前にメールでこの資料を送らせていただいておりますので、皆さん目を通していただいているとは思いますが、新しい議員の皆さんは議会報告会、多分しとられないと思うので、内容的にも雰囲気的にもわかりづらいのかなと思ったりもします。御質問などあれば、お答えできるところお願いしたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

**○奥岩委員** 質問を。

**○伊藤委員長** はい、前回の議会報告会だとか、皆さんの意見がどのようなものがあったかというようなところは御確認いただいていると思うんですけども、質問などあれば。

奥岩委員。

**○奥岩委員** 議会報告会が4カ所開催されているのが、市役所と淀江支所と富益と福米西公民館、これは単純に場所で4カ所ちょうど等分されて、この場所になったんですか。

**○伊藤委員長** あのですね、今配ったばかりなので見ていただけてないと思います。米子市議会報告会開催要綱という3枚物を見ていただくと、開催地区及び開催回数、第4条のところに書いてございまして、報告会は米子市自治連合会のブロックごとに設ける班のいずれかの担当により、年1回開催すると書いてありますが、この自治連のブロックというのが、南部、中央、弓浜などあります。そのブロックの中で4カ所ピックアップして選んだところなんです。駐車場もある程度ないといけないとか、そういうようなことも加味して空いている公民館なり、支所、場所を選んでました。

(「ありがとうございます」と奥岩委員)

**○伊藤委員長** じゃあ進ませさせていただいてよろしいでしょうか。

それでは御協議に入らせていただきたいと思っておりますが、まず議会報告会について、議会報告会の開催について、開催方法等御意見を賜りたいと思っております。また、次に実施回数だとか、実施時期、実施場所、テーマの決定というふうになっておりますが、これもちょっと

と議会報告会の開催要綱を見てくださいと、はぐって一番後、附則のところなんですけど、一番後のところに次の一般選挙後の報告会の開催回数、まさに今年度なんですけれども、一般選挙による議員の任期の初日以後の報告会の1年当たりの開催回数については、同日以後に別途協議を行うものとするというふうにございます。来年からは年に1回と決まっているんですけども、今年度は……。

長谷川次長。

**○長谷川議会事務局次長** 来年以降についても、今回も、任期の初日以後となりますので、今年度以降になります。

**○伊藤委員長** 失礼しました。来年以降についても、毎年協議を行って、開催回数を決めるというふうになっておりますので……。違いますか。

**○先灘議会事務局次長** 開催要綱の第4条で、2行目の後段に年1回開催するというのは、前任期までは1回、29年度だけなんですけれども、30年度以降をどうするかというのを別途協議しますということですので、開催回数について、今年度以降どうするかというのを協議ということでございます。

**○伊藤委員長** 失礼しました。今年度以降の開催回数について別途協議をするということですので、今回協議したいと思っております。それで、自由な御意見をいただいてここで決定するというにはなかなか難しいと思っておりますので、一回持ち帰っていただいて、その後また皆さんの御意見を集約してみたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。それでは、開催について、開催回数も含めて御協議を、御意見をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

稲田委員。

**○稲田委員** 持ち帰りということですので、一応案として出させていただきます。一応行うという前提で、ただ開催要綱どおりといたしますと、それが筋道論では第一候補かと思っておりますが、先ほど、前回と全く同じ内容で日程等々組むと、かなりきつい日程かなと思っております。9月18日自治連会長会があるということであれば、そこに日程あるいは内容の主だったものもお伝えするのが礼儀かと思っておりますので、果たして9月18日といたしますか、その前の週、9月定例会がある中でまとめ切れるかどうか、内容がいい意味で煮詰まったものになるかどうかちょっと微妙かと思っておりますので、一応考えとしては、案としてはですが、要綱どおりにやる、ないしは要綱上は開催回数を決められるということですので、年度というか今に関しては、要綱どおりのものはしないけれどもそれに準じると申しますか、市民の方に説明するなり、意見交換するなり、その内容はこの委員会で協議すればいいと思うんですけども、そういったものであれば振り幅はあるんですけども、その中で選んでいけばいいのではないかと、ただ時間をいわずらに消費してもいけませんので、どこか遅くとも、皆様の日程的に妥当な線としては9月8日の開会日の日にこの委員会を開く、それまでにどこかでもう一回意見を集約できるような場があればいいのではないかなと、提案だけ。

**○伊藤委員長** ありがとうございます。議会報告会を行うという前提で、前回どおりではなくても行うという前提で、日程をちょっとタイトな日程になるだろうと思っておりますけれども、皆さん御協力いただくというような方向で進めていってはどうかという御意見でしたが、いかがでしょうか。

**○山川委員** 開催するということはすごく開かれた議会ということで、公約でいいと思う

んですけれども、ただ前回議会報告会を住民の立場で参加させていただいて、又野さんと奥岩さんは今回初めてだと思うんですけれども、ただそのときに予算のことの説明だったり、議会の報告が長い。議員は予算を提出する権限だったりもないので、市の報告会だったらまだわかるんですけれど、やはり本筋はその地域、地域の住民の方が市だったり議会に対して言いたいことを議論なり、意見集約をしてどう反映できるかということが主だと思うので、報告だったりの時間を短くで、意見を集約する時間を本当に多くしたほうがいいなと思います、1点目。2点目は、開催が4班あったんですけれども、4班の中の1つの班だけが土日の昼だったんですけれども、やはりここに来られる方が60代、70代の方だったんですよね。やはり、土日の昼だったりが一番出やすいと思いますので、その時間帯だったり内容をもう少しもむ必要があるんじゃないかと思ひまして。あと3点目なんですけれども、この意見集約、1班から4班までの要望だったり意見の回答だったりを見てみますと、自分も実感したんですけれども、個々の議会で決まったことだって、個々の議員からの意見は入れませんということで、ほとんど結構書いてあったんですけれども、それってあんまり意味ないと思うんですよ。要綱でも報告の内容、5条においては、議決の経緯だったり、その理由だったりを書いてありまして、26人いて、賛成、反対といろいろな意見があって、経緯だったりで決まっているわけで、市民からは26人の議員がどういう意見を持っているかというのでも聞きたいというようなことも言われてましたし、8条の2項では確かに、議会で決まったことだけをという形で書いてありますが、そこが整合性も矛盾してまして、市民としては全員が同じ意見、市からの報告だったら別ですけども、個人がどういう意見を持っているかというのでも、意見交換というのでもそれでもいいと思うんですよ、有意義な議論、開かれた議会という意味では。その3点を持ち帰っていただけたらなと思ひまして。

**○伊藤委員長** ありがとうございます。山川委員から、前回の議会報告会は報告が長かったので、意見交換の時間が必要ではないかというような御意見。あと2点目は開催日時の設定、もっと土日の昼にしてはどうかという意見と、あと3点目は、これは議会報告会の要綱をつくる場面でも議論になったところではございますが、8条2項の会派及び議員の個人の見解を述べる場ではないことに留意しというふうにはございますが、こういうふうに一応決めております。今山川委員がおっしゃったことに対して感じましたのは、議論の過程ですね、こういう意見もある、こういう意見もありましたということは、ここの要綱の範囲内で、誰がどう言ったのではなくて、こういう意見もあったし、こういう意見もあったということは入れられるのではないかなというふうに思ひました。皆さん、御意見等ございましたら、持ち帰りということで、また……。

又野委員。

**○又野委員** まず、開催するかどうかについては、私もせっかくですので、開催したほうがいいと思っております。その時期については、先ほど稲田委員がおっしゃられたようにあまりタイトにならないような感じでいけたらいいと思っております。内容についてはですけども、先ほど山川委員さんが言われたんですけれども、議会報告会ですのでやはり議会でのどのような意見があったかというのは当然報告するべきだと思いますので、いろいろな意見があるので差し控えるとかではなくて、やはりどのような内容だったか、それで最終的に結論が出てこうなったとか言えばいいんですけれども、やはり経過とかも報告すべきだと思います。それともう一つ、説明が最初長くなってしまうというのが、第1回目だ

ったということもあるんでしょうけれども、やはり全般に広がって説明をしていたからだと思いますので、もし可能であれば、テーマを絞って、このことについてここではやりますとかというふうにやったら、最初の説明が長くなるのではないかなど、的を絞ってやればですね、そのことについてだったら、いろいろ聞きたいとか、意見を言いたいという人も行きやすいのかなど、あまりにも全般的過ぎると、なかなかどのような感じなのかも、市民の皆様もつかみ切れるかなという感じがしまして、共産党市議団の中でも話をしたんですけれども、テーマを絞ってはどうかという意見がありました。以上です。

**○伊藤委員長** ありがとうございます。事務局に聞くんですけれども、時間配分はどうだったですかね、大体は。

**○先灘議会事務局長** 大体2時間の時間の中で、四、五十分、大体説明をしておりましたので、それが長いか短いかの問題だと思います。ですから、意見交換の場としては1時間、ですから早く終わった場所もございましたので、1時間40分ぐらいで終わったところもあったと思いますので、その意見の長さによりまして議会報告会の長さも長くなったり、短くなったりしている、おおむね2時間のうち、四、五十分程度の説明をしておりましたので、あとはテーマの内容によると思います。

**○伊藤委員長** 矢田貝委員。

**○矢田貝委員** 今、山川委員、又野委員がおっしゃったことというのは、去年広報広聴委員会を開催するに当たって、議論をして、クリアしてきたところだというふうに思っています。ですが、実際開催してみたときには、来られた方が求められているところというのは今お二人がおっしゃったところだったというところと、こちらが議会報告会というところで議員の意思を統一して臨んだというところが違っていたというところが、今の出ている意見だと思うんですね。もう一度、要綱も含めて高専の生徒さんたちとの意見の交換の場があったときに、私予定が合わずに行かせていただくことができなかつたんですけれども、住民側が意見を交換したいので来てくださいという議員との意見交換の場と、議会が出向いて行ってやるというところは議員の報告会ではないので、そこら辺もう一回整理をしなければ先が続かないというふうに、きょうの話を聞きながら、また去年も終わった後に感じていたところですので、去年9回ですか、話し合われて開催したんですけれども、もう一回ゼロベースぐらいな勢いで、開かれた議会にするためにはどうがいいのか、開催の周知につきましても、自治会を経由しなくても若い世代に向かって、高校生に向かってというようなこちら側の報告会もあると思いますので、もう一回どうしていこうかというところ、開催する、しないというのはする方向で向かっているわけですから、少し時間がかかっても、開催が先送りになっても検討してみる必要があるかなというところが今の気持ちですけれども。

**○伊藤委員長** ありがとうございます。ここの米子市議会広報広聴委員会要綱が3枚目にあるんですけれども、これを見ていただくと、第2条のところに委員会の所掌事務ということで、1番、米子市議会だよりに関すること、2、議会のホームページに関すること、3、議会報告会に関すること、4番に前3号に掲げるもののほか、議会の広報及び広聴に関することというところなので、高専の出前説明会というか意見交換会ですかね、それは4番のここの3号に掲げるもののほか、議会の広報及び広聴に関することというような位置づけで行われたものと私は認識しているんですね。議会報告会に関することは議会報告会の開催要綱がございますので、ここの中で修正が必要だというような部分がこれからは

出てくるのかもしれないですけども、まだ1回しか、そうは言ってもやっておりませんし、市民の皆さんも初めてのことで個々の意見を言う場ではございませんというふうに、一番初めの開会に当たってのときにその説明もしておりますが、なかなかそれがどういうことなのかというようなことも、実際に初めての体験だったので、お互いになかなかそぐわないことやうまく意見交換できなかつたところもあるかと思えます。ただ、まだ1回なので、それはもう少し続けていってもいいのではないかなと思っております。

奥岩委員。

**○奥岩委員** まず、議会報告会の開催についてなんですけれども、改選後ではあります、皆さんおっしゃっておられるとおり、今年度も議会報告会をやる方向で進めていただければと考えますと、実施回数については前回29年度の開催要綱のところでは年1回とありますので、なるべくそれに沿った形に近づけるようにと考えております。また、さっき山川委員もおっしゃっていたみたいに時間の配分についてもあるんですけども、アンケートの集計結果のほうを見させていただいて、長かったと感じておられる方が、おそらく2割ぐらい、十何名トータルで。ちょうどよかったという方が半数以上になってます。ただ、参加した年代層が60代、70代がほぼほぼで、ほかの年代の方が来ておられないところですので、開催時間だとか場所だとかそういったところはきちっと精査をして、もう少し各年代層の方が来てくださるような実施方法を考えるかどうかと思っております。あとは、年齢別の参加数を見ると投票率もおそらくそんな感じで推移をしているところもあると思えますので、単純に興味を持っておられる方、おられない方というところがそのまま反映したのかということもありますので、矢田貝委員もおっしゃっておられるとおり、まだ1回しか開催をしておりませんので、今後いろいろな面で改善される余地はたくさんあると思えますので、今年度とりあえず開催を目標として、それぞれ皆さん各委員、テーマだとか課題を持っておられると思えますので、その辺のところしっかりと協議しながら、準備をしてというところで、最初稲田委員もおっしゃったみたいに、すぐすぐ開催となると、9月18日の自治連合会さんのほうに、今皆さんたくさん意見を言っておられたんですが、それが間に合うのかというのが正直なところですので、あわてて失礼なことをするというよりは、しっかりといろいろと内容を精査して、準備をして、開催要綱に沿ったものに、また皆さんの意見を集約していきたいとは考えております。

**○伊藤委員長** ほかにご意見等ございませんでしょうか。

山川委員。

**○山川委員** この4班あって、去年、ある区域では自治会長さんがすごい頑張って、もう絶対集めんといけんけんって、頑張って集められとったみたいで、新聞折り込みにも入っていたんじゃないですか、こういうふうにやりますからと、ただ、若い人がなかなか入りにくいというのが、新聞を読んでいない人が多い。それで、ホームページは逆に若い人が見るけど、ホームページは逆に裏サイトみたいな感じで、見づらいので、若い人が把握しにくい。インターネット中継だったりもちょっと見にくい、わかりにくいということで、なかなか若い人に呼びかけるツール、例えばホームページだったり、市議会だよりも若い人はなかなか、コンビニに置いてあるんですけども、取って見る、クーポンがついていたら取りますけれども、じゃないですよ。だから、若い人にももっと呼びかけたいということだったら、班に分かれて駅前とか、若い人が集まる場所、ポイントでビラを配ったりとかということも、検討してもいいかなと思うんですよ。

○伊藤委員長 矢田貝議員。

○矢田貝委員 自治会単位の、私たちの発想に若い人というのはちょっと違うかな。やっぱり若い人なら若い人なりの開催、やりますというところの山川委員の広報というやり方は生きると思うんですけども、地域の方がいっぱい来るところに若い人が来てというのは難しいかもしれない、やらんといけんとは思いますが。

○伊藤委員長 貴重な御意見ありがとうございます。私は前回は広報広聴委員会の委員でしたので、高専さんには持って行かせていただいたんです。陳情を出していただいた加藤先生のクラスに配っていただけませんか、でもなかなか本当実際来るということになるのもまたハードルが高かったようで、でも広報広聴委員として広報することは必要なことだと思いますので、あらゆる手段を使って、広報に努めていければと思いますので、また具体的にこういうふうな所に持っていったらどうか、駅前だとか、お店のところに配ったらどうというようなことも強化とかが必要だと思うので、難しい面もあろうかと思えますけれども、皆さんの意見があればそのようにさせていただきたいなど、私個人は思っていますけれども、皆さんいかがでしょうか。

矢田貝委員。

○矢田貝委員 私がちょっと高専の学生さんとの交換の場のところに行ったときには、3条の3……。

○伊藤委員長 米子市議会広報広聴委員会の要綱のこと。

(「議会報告会の」と声あり)

○矢田貝委員 で、行ってくださって、その広報広聴委員会の協議を経て、議長が定めたとところの出かけての高専さんとの交換会だという、それっていうのは議会報告会年1回に開催するにカウントするものではないですよ。議会報告会を開催するに当たっては、4回ブロックに分かれて4回するということと年に、一時期に4回という捉えなんですけれども、そこら辺を整理させてください。私、毎回委員会に参加していませんでしたので。

○先灘議会議務局長 この米子市議会の議会報告会の開催要綱は第4条にあります開催地区を決めて行いますよというものの開催要綱でありますので、高専に出向いてというのはこの要綱にのっとったものではないということです。ですので、もしそういうテーマ別に、いろいろなテーマで出向いたりという部分はまた別途皆様で御協議いただいて、こういうふうにやりましょうとか、決めなくてもできるものはできますので、地区ごとにやるのはこういうやり方でやりましょうというのがこの開催要綱です。ですので、いまおっしゃったものは別途また協議いただければと思います。

○矢田貝委員 では、又野委員がおっしゃったテーマを設けてということに、仮になったときには、この年1回の開催するという、これではないプラスの部分の御意見だったと理解すればいいんですね。

○伊藤委員長 はい、私そのように認識しております、議会報告会の要綱は議会報告会の要綱に沿ったもので、あとそれ以外の自由な意見交換会というのは、議会報告会のこの要綱のところではなくて、広報広聴委員会の要綱の第2条の4号のところの、ここに議会報告会のところではないもののところの議会、広報及び広聴に関するところの位置づけでできるのではないかと考えております。

又野委員。

○又野委員 それでもできるんですけども、議会報告会でもテーマを絞ってはどうかと

いう意見だったんです。

**○伊藤委員長** それは議会報告会の中で、ここ第5条に予算に関すること、決算に関すること、議決の経緯及びその理由、議会の活動及び運営、議会の仕組みというところにございますが、この中でこのテーマを掲げて説明を、報告をして、意見をいただくというようなことの中でも可能ではないかなと思います。

ほかに、よろしいでしょうか。

それでは開催について、皆さん大体の意見が開催の方向でというようなところで、意見が多かったと思いますので、開催について、実施回数の協議に関することだとか、時期、場所、テーマの決定について、一度皆様にシートのようなものを送らせていただきまして、それで会派のほうで検討していただいて、またそれを提出していただくというような形で次の委員会ではそれをもとに協議をするというような形にさせていただきたいと思います。さっき稲田委員のほうから御意見がございましたが、日程がタイトですので、できれば次回、全員協議会が8月28日に開かれますので、そのときに終了後ということで1回開催させていただいて、そこで集約するというのをさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

**○伊藤委員長** そうしますと、その前日の8月27日の大体正午ぐらいまでに、それを事務局のほうに提出していただくという風な形でお願いしたいと思います。お忙しい中、すみませんが、よろしくお願ひいたします。

それでは、議会報告会のことはこれで……。

山川委員。

**○山川委員** 昨年度の議会報告会は各4班に分かれていたんですけども、常任委員会ごとではないですよ。ただ、今の議会報告会でポイントを絞って、テーマを決めてということだったら、常任委員会も3つあるじゃないですか、常任委員会の今話題になっているトピックの、予算のこれはこういうテーマですよという話だったら、全然全般論を聞かれたら、多分なかなか答えられないトピックとかも多々あると思うんですけども、常任委員会にプラスアルファみたいな形だったら、逆に淀江の産廃の人だったら、その委員会に行きたいなとか、今建設だったら駅のやつがありますよとそれに行きたいなとか、多分それごとのほうが委員さんも逆に予算だったりも把握しておられるのでしやすいと思うんですけども、それはどうでしょうかね。ちょっとまた一回持ち帰っていただいて、3つしか常任委員会ないですけども。

**○今城委員** 広報広聴委員会、何回か欠席させてもらったりしてまして、ただ傍聴をずっとさせていただいている経過を考えますと、大体4班に分けたというのは、地区のブロックでということとそのメンバーをどのように分けたかというのは、第1回目なので地区に大体近いところの委員を4班に振り分けましょうということと、もう一つはその振り分けたことと同時に常任委員会の全部のところから均等に入れましょうと、それはなぜかというところ、そのときのテーマが特に予算決算ということだったのもあるんですけども、それについて、いろんな形の御質問が出てくるときに、例えば偏った常任委員しかいないということになると、お答えができなくなるということではいけないからということ踏まえての各委員会から必ず出てくださいということ踏まえて、地区じゃないけれども、委員会構成の関係で違うところの会場に、担当になってくださった方も何人か私はあったと思



うんですね。そういう意味では、どのようなテーマを決めるのかということについては、例えばテーマはあったとしても、市内全域で一つのテーマだけっていうふうにしたとしても、委員はどのことについても、その担当の委員だけが、その特別委員会の委員だけが担当するというわけには絶対いかないので、どのような関係の質問が出るかわからないということもあると思うので、議会全体としての、当然要綱にもあるように、議会全体でのことを報告する、自分の個々の立場とか、委員会だけの立場だけではなく、報告するということが前提にこの報告会をするということが前提の議論の中であってだと思ってるので、その全体のことを押しなべて皆様にお伝えできる、もしくは答えれるということを前提とした班構成であったり、メンバー構成であるということが必要だということは、前回言われてたとおりのことかなというふうに思いましたし、実際自分もやってみて、自分自身の委員会のこともかなり、ものすごく重たいものを資料に持って出ましたし、そうじゃないものも山ほど持って出て、全ての委員会の資料を持って行って、委員会じゃないところのことも、たしかあそこにはありましたよねと言いながら、下からごそごそ持って来て、隣が中田さんだったので、中田さんとこれでしたよねと言いながら、お答えしたりしたこともあったので、やはりそれっていうのは、押しなべて議員は専門性があるからとか、その委員会だからということではない形の責任の取り方とか、お答えの仕方ということを、やはり出て行くならそれはするという前提にメンバー表をつくるべきだし、また内容も一つのことに絞りができたのかどうなのかというのは、これからここできちんと決めていくということだと思いますので、それを含めて持ち帰りということなのかなと私は理解させてもらいたいかなと思います。

**○伊藤委員長** 山川委員。

**○山川委員** 本音と建前はすごくわかるんですよ、一般論、理想論としては一人の議員が全てのジャンルのことを全て把握しておったらいいと思うんですけども、なかなか現状としてはそうならない。昨年度あったときも、いろいろな場所で聞かれたときも、個人の議会の見解を議会全体で決まったことなので言えませんという答えがほとんどだったんですよ。ですので、だからこそある程度専門性を持った方が質問だったり、質疑だったり、答えたり、逆に言ったら答えられなかったら持ち帰って答えますというふうに言ったときは、逆に市民の方が議会に対して、市に対してどういう思いを持っておられるかというのを把握するのが必要だと思うんですよ。それを持ち帰って常任委員会に持ち帰るといのが必要だと思いますので、全分野を一人の人が、全部のところを把握してというふうに言われたらそれが理想ですけども、理想と現実はそうになっていないので、前回のときそういうふう実感しましたんで、それをもって委員構成を、近い場所、地元のところがいいというのが、それもあってもいいんですけども、常任委員会だったりごとにテーマを決めてというのも、その内容だったりこれから本当にもっとよりよく市民の方に開かれた議会として、もっとどういうふうに共有できるかということをやするためにはある程度、議会としての専門性を持った上でこうやってやっているんだよと市民と一緒に共有する必要があるなと思うので、それは各会派で持ち帰って、また詰めていただけたらなと思うんですよ。

**○今城委員** 確認で、今おっしゃっていることは、Aの場所ではこういう内容、Bの場所ではBの内容、Cの会場ではCの内容、そういうような専門的なものをやるんだと、1回の開催でというふうな御意見なのですかね。

○**山川委員** 例えば、常任委員会をベースにしてということやっていくということですよ。

○**今城委員** それは議会報告会にそぐわないし、地域ごとの課題というのは確かにあると思うんですけども、議会として報告するということになれば、例えばAのテーマで済ますということになったら、1の会場も、2の会場も、3の会場も、8の会場もAのテーマでやらないと、これは議会報告会にならないと思います。1の会場ではAのテーマ、3の会場ではCのテーマということになると、それはCの会場が聞きたい人が聞けばいいということになると、これは議会報告会では、私はないと思うので、そこのベースというのは持ち帰りでもいいですし、もしくはきょうここで共通認識をするほうがよければそうですし、私は前回のことからいうと、同じテーマでやりましょうということが大前提の中で委員会はずっと進んできたと思ってますので、そこは確認をお願いします。

○**伊藤委員長** 今城委員がおっしゃるように、一つの決められた内容を4ブロックがするというふうに前はそういうふうに行いました。この要綱の中で一つの決められたテーマということは別にあるわけではないので……。

○**先灘議会事務局長** 基本的には、会場は確かに4つになりましたけれども、どこに行っても同じ内容ですよというところがあって、その地区の人がその地区しか行けないようではなくて、行けない場合は別の会場でも行けます。ただ、場所は自治連のブロックごとで開催するというところが基本だったと思いますので、内容的には全て、報告については同じ内容、意見は別になりますけれども、報告については共通してやりましょうというところでスタートしているかと思います。

○**伊藤委員長** さっき山川委員がおっしゃられた、今城委員もおっしゃられました。その4ブロックの1会場に議員が行くってということに関しては、前回は別にそうではなくてはいいんじゃないかという意見もございましたので、それはゼロベースで考えてもいいんじゃないかなと思います。ですがやはり議会報告会ということになれば、同じテーマで4ブロックでということが基本ですね。あとほかに自由度を高めて、テーマ、委員会ごとというようなことになれば、また議会報告会とは別な方法を検討する必要があるかなと思います。それも含めて、また自由な御意見をいただければと思いますが、基本はそういう形でしたいと思います。よろしいでしょうか。

○**岩崎委員** 今いろいろ議論があったとおりで僕も思ってます。いずれにしても持ち帰りますけれども、前回実は全期4年をかけていろいろもみながら、最終的にはなかなか報告会、よし実施しようというところまで、なかなか来ない中で、それでよし最後の1年間頑張ってみようよというようなところで、ようやく報告会にこぎつけたと。それもごらんのとおり返数を重ねて議論をした上での1回目だった。結果はいろいろな意見があったと思います。本当にこれが広聴会だったのかなと意見もあったと思うし、本当に意見を言わしてくれよというような意見もあったと思います。それで1回終わりました。今期新たな期が始まりましたので、スタートラインとしてはなかなか次に全く違うような方向性を持ってということにはなかなかないんだろうなと、私は個人的には思っております。とりあえず今期、そんなタイトなスケジュールの中でということなんですが、前回の話し合いの中で一つ大きく言えたのは、3月の当初予算、9月の決算、これについて結構意見集約があるわけですから、その中で委員長報告にも述べられたようにこういう多様な意見がありますということ、必ず委員長報告に各議会も述べられているわけですが、そういったことに準じて報告会の内容を決めていくというような流れだったと思うんですね。1年

間を通して、市政全般にわたってというのが一つのテーマだったので、確かにぼやけてしまう可能性もあるんですが、前回そういったことをやった、例えば今期、この1年間は少なくともそういうのを踏襲するような形が一番いいのかなと。その中で今任期に、またいろいろな課題が出てくると思うんですよね。例えば参加者がやたら少なかったとか、日程を何とかしたほうがいいんだとか、いろいろな意見がおそらく出てくると思うので、改めて今任期は4年間あるわけですから、年度ごとに進化していくというような考え方を持つべきなんじゃないかなと、私は個人的に思ったもので、意見として言わせていただきます。

**○伊藤委員長** ありがとうございます。開催する方向でということで、先ほど山川委員がおっしゃっていた委員会ごとのトピック、テーマがあったというようなことは、その議会報告会の、先ほど岩崎委員がおっしゃられた予算決算に関するようなところでも取り込めるのではないかなと、その中で御説明するということが、御報告するということができるのではないかなと思いますので、それはあと班でできるかと思いますので、またそういうところも御意見いただければと思います。

それでは、次回の8月28日開催の前日、8月27日正午ぐらいまでに議会報告会について決めなければいけないところを持ち帰り、協議をお願いしたいと思いますので、実施のほうお願いいたします。

それでは次によなご市議会だよりについて、御協議をお願いしたいと思います。

まず、昨年度の広報広聴委員会が出された意見ということに、議会だより、表紙、各個質問のボリューム、文字の大きさ、常任委員会の視察報告の上げ方とか、広報広聴委員会の記事、市民に呼んでもらえるような記事、表紙の写真は季節に応じた写真でいいとか、紙面をもっと充実させる、二色刷りにする、写真、イラストの活用、文字を大きくする、見やすく、フォントを上げることによって伝えるべきものが減るのは避けるべきという意見がございました。表紙の写真の公募等も意見として出されました。議会だよりをさらに市民の皆様が読みやすく、多くの方に見ていただけるというようなところで一つずつ協議をしながら、反映できるところは取り入れていきたいと思いますので、御意見等お願いしたいと思います。一つきょう議会だよりについて、資料を配っていただいておりますのが、昨年の広報広聴委員会が出された意見の表紙の写真の公募等で、今回の議会だよりには反映できませんでしたが、表紙の写真の公募のことについて、ここに挙げさせていただいております。この一番初めは、大山町議会の議会だよりなんですけれども、これは裏面をはぐっていただくと、一番裏のあとがきのところがございますが、表紙は暮らしのテーマに、地域掛ける写真のプロジェクトで大山ルーツさんの写真をお借りし、まちを振り返る試みをしばらく続けますということでしたり、鳥取市議会のほうは裏面を見させていただきますと、とっとり市議会だより表紙写真、絵手紙を募集していますということで、作品のテーマ設定はいたしませんということで、こういうふうにも公募していらっしゃいます。そこで出されたイラストですね、最後はこれは境港市議会なんですけれども、表紙、裏表紙の写真も募集しますということで、このテーマ、境港市内で撮影した写真または境港市に關係のある写真ということで募集をしていらっしゃいます。表紙というのは取ってみて、開いてみようかなというようなところにつながるのと、とても重要なところではないかと思っておりますので、こういう資料をつけさせていただいて、よなご市議会だよりも表紙の写真も公募して、市民の参画をもっと図るようなことができたらいかがかなというふうに思っております。基本は持ち帰っていただこうと思っておりますが、御意見等ございましたら願

いしたいと思います。

奥岩委員。

**○奥岩委員** 市議会だよりについての意見ということで、昨年度の広報広聴委員会の意見とプラスで今回各委員でということ、先ほど委員長も今回意見を出していただいて、持ち帰りということだったので、いろいろと少し提案があるんですけども、今添付でつけていただいた大山町さんとか何回か賞を取られていて、非常に見やすいので参考にすべきところが多々あると思いますし、一点ちょっと懸念がありまして、写真とか表紙の公募となると、この公募したからといって今実際に見てる方々がどのくらいいるのか、そういったところもありますので、その辺も少し時期をみて公募のところは考えたほうがいいのかなと思います。内容的にはすごくすばらしくていいなとは思いますが、今公募してもそこまで効果があるのかなというところは懸念される。そこだけ時期を考えていただけたらと思います。

**○伊藤委員長** まだまだ調査不足ですので、公募の状況というようなものも調査してみたいなと思っております。

(「ちょっと、いいですか」と岩崎委員)

**○伊藤委員長** 岩崎委員。

**○岩崎委員** 参考に事務局さんに聞いてみたいんですが、今までの年間の写真は事務局さんが一生懸命考えられて、だと思えるんですけども、何かテーマ性とか何かあるんですか。

**○伊藤委員長** 佐藤主任。

**○佐藤主任** 前は広報広聴委員会で既設の写真を載せようとなるまでは、議員の活動に関する、議会だよりですので、議員の活動に関係する写真を載せようということで、委員会が新しくなったときの各委員会の集合写真を載せたりですとか、傍聴席からの議場の様子みたいな写真を載せたりですとか、委員会の視察の様子をそれぞれの委員会ごとに載せたりですとかそういったことをしてたんですけども、この広報広聴委員会で、前の広報広聴委員会なんですけれども、季節の写真を載せようというような、議員の活動ではなくて季節の写真を載せたほうがいいんじゃないかということで、これは前々回の分ですけども、こういったまちの風景みたいなのを、これも私がつてを駆使してもらった写真だったんですけども、そういうのを載せてたんですが、これからどうするかということです。

**○伊藤委員長** 山川委員。

**○山川委員** レイアウトとかは今のよなご市議会だよりと、とっとり市議会だよりみたいなこんな感じなレイアウトですよね。これって変更可能なんですか。今大山町議会のを見たら、すごい構成が見やすいじゃないですか。トピックも見やすいです。3月定例会の内容をわかりやすく伝えますみたいな、わかりやすいので、こういう構成、構成もかまえるんですかね。

**○伊藤委員長** 佐藤主任。

**○佐藤主任** 構成はかまえます。ただ2色刷りにするとか、そういったのは契約をする段階で、ある程度約束事みたいなのをして入札はしてますので、例えばこの鳥取市みたいにしたいにしたいとか、大山町みたいにしたいとかということであれば、うちは例えばあらましを今写真をばんと載せて、あらましをここに付けていますけれども、このあらましを取ってしまって、こちらにつけたいとかということであれば、この写真は前はもう少し小さかったりしてました。それを大きくしたりとか、表もカラーということをお願いして

いますので、それは問題なくということです。

○伊藤委員長 山川委員。

○山川委員 やっぱり高齢化社会なので、見やすい、これは見たら、表紙で取りやすいじゃないですか。あと鳥取の市議会イラストとか描いてあるんですけど、子どもたちって夏休みの宿題で県展とかもあったり、いろいろ出しているじゃないですか。だから本当に子どもたちだっったりの参加、お母さんだっったりの参加だったりをいう上で、米子市議会議長賞とかってあるんですよ。だからそれを取った人がここに載りますよとか、そしたら期日も県展に載った人がこういう感じで載るよとか、何か連動しているじゃないですか。だからそれを何か逆にあってもいいかなと思うんですよ。それで編集だっったり構成もかまえるんであったら、よりポイントでわかりやすい情報をというのを、ある程度挑戦してみてもいいんじゃないかなと思います。

○伊藤委員長 ありがとうございます。また、具体的にいろいろレイアウトにも、私たちもしていかなきゃいけないかなと思っております。ほかに御意見等ございますか。

又野委員。

○又野委員 表紙の公募については、市民の方の写真や絵が載るということは、多分自分のが載ったら、周りの人にも話をしたりして、見ていただけるようになるのかなと、先ほども何かで選ばれた絵とかでも、それはその方の絵が、写真が載ったらいろいろな人が、今まで見ていなかった人も見られるようになるので、市民の方がされた絵や写真というのを載せるのは、とても効果があるんじゃないかなと。それがどんどん続いていけば、前載った人も、やっぱり次どんなのが来るんだろうかということで見えていただけだと思うので。あと内容についてですけども、少し前に日吉津の議会だよりを見るのがあったんですけども、議員の数が違うからなのかもしれないですけども、文書が少ない、字が少ない、イラストや写真とかが多いですね。ぱっと見た瞬間に全然違うと思ってですね、米子市とは。でもよく考えたら、議員の数が違うから仕方ないのかなと思いつつも、やはりちょっと何かもう少し見やすくなるのか、どうしたらいいのかというのはそこでは私も結論が出なかったんですけども、見やすさという点では違うなと感じました。

○伊藤委員長 ありがとうございます。よなご市議会だより発行に関する要綱の中では、議会だよりの掲載内容というのがありまして、この掲載内容は載せないといけないですね。これ又野委員がおっしゃるように市の予算も違いますし、議員の数も違いますので、そこら辺のところでもどうしても載せなければいけないような部分が町のほうは少ないのかなというふうに思いましたが、それこそレイアウトはいくらでも変更することができますよということなので、どんどん御意見を言っていて、締め切りがありますので、ちょっとずれたようなとき、もう終わったようなときでも仕方ないですけども、その機会機会を捉えて、一テーマ協議をして、レイアウトを変えていくというようなことは可能ではないかなと思っておりますので、具体的にいろいろ委員会もそうですし、個々に議会だよりも見やすいところを取り上げていただいて変えていければなと思ってます。よろしいでしょうか。

それでは議会だよりは大体は毎議会終了、閉会后ぐらいに締め切りが来るんですよ。

○佐藤主任 そうです。

○伊藤委員長 毎議会の閉会后のときにすぐに締め切りが来てしまうので、できれば議会の始まるようなときだとか、閉会中の委員会のあたりでいろいろな意見を具体的に出して

いただければ、またここの委員会で御協議をさせていただいて、変更していくということにしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○**岩崎委員** この今の市議会だよりについては、これは今いろいろな意見が出たんですが、これをやはり持ち帰りということでもいいんですね。

○**伊藤委員長** 持ち帰っていただいて、また意見を……。

○**岩崎委員** 次回の委員会のときに、今後の方針を……。

○**伊藤委員長** そうです。

○**岩崎委員** わかりました。

○**伊藤委員長** またこちらの委員会で協議をして、また持ち帰ってというようなことをしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

その他、3番でございますが、何か皆様のほうからございますでしょうか。

○**岩崎委員** いいですか。委員長言われていたとおり、整理された議会報告会は議会報告会、そのほかの広報広聴活動というテーマも合わせて今後考えていくのか、一旦持ち帰り案件はとりあえず議会報告会と議会だよりに絞るのか、そこら辺ちょっと。

○**伊藤委員長** 皆さんの御意見はまたいただきたいと思っておりますけれども、全てに関することだとか、前回の委員会でもこれからの広報広聴委員会の方針、方向というふうにおっしゃっていただきましたけれども、そこら辺のところ御意見があれば、そこでまた取り上げて、集約をして、皆さんの総意でやっていく、これをやっていく、これはちょっと無理だなとかとそういうところがあるかと思っておりますので、今回の持ち帰っていただいた意見の中に、自由記述みたいところで書いていただければなと思っております。よろしくお願いいたします。

あと皆様のほうからなければ、ホームページに関する事、前回委員会で皆さんのほうから御意見があればということで、事務局に提案するという事でいただいております。事務局のほうから、私が。

長谷川次長。

○**長谷川議会事務局次長** ホームページのことにつきまして御意見をいただいたんですが、ちょっとそちらには資料を特にきょうはつけておりませんが、大山町のホームページを見ますと、議会のトップページのところに議会の議会用語みたいなものが検索できるようなページに飛ぶようなものとか、あるいは議会の要綱とか条例はほかのほうに載っておりますけれども、要綱とかもまとまったものが載っているような、そういうふうなものをつくってはどうかという御意見があります。

○**伊藤委員長** 先ほど山川委員さんですか、議会の文言がとても難しくわかりづらいと。

○**山川委員** 見られたことありますか。ありますか、又野委員。インターネット中継とか。

○**又野委員** あります。最初、わかりにくいですね。

○**山川委員** 私たちも、市役所の職員さんとかも結局何回かやっているのわかるんですけども、一般の方がわかりにくくて裏サイトみたいなって結構言われるんですよ。というのが、米子市議会とやったら行くんですけども、最初に全体でインターネット中継とやる人にはこれクリックしてくださいとか行くじゃないですか、ここがちょっとわかりにくいので、最初からホームページを開いたら、米子市議会と入れたら、名前のところへ行ったりだとか、議会用語とかそういったところに行ったらわかりやすいんですけども、最初にここに行くから、クリックするというところまでの動作であきらめてしまうと言わ

れるんですよ。だから本当に知っている人しか知らんよねと結構言われるので、そのホームページの入った米子市議会と検索したらすぐに行けるような形だったり、言葉の、用語だったりがあるような形に誘導するようなものを、システムをつくる方と協議いただけないかなと思うんですよ。

**○先灘議会事務局長** それは検索エンジンの問題だと思うんですよ。ですから、よく見るのはトップのほうに行きますし、見るのが少ないとどうしてもというところですので、検索のエンジンとかの問題だと思います。ただ御提案がありましたので、協議させていただきます。

**○伊藤委員長** 入りにくいというようなところですよ。今事務局説明があつて提案されたのは、用語の説明と……。

奥岩委員。

**○奥岩委員** 山川委員がおっしゃったのと、局長が言われたのはずれているかと思うんです。山川委員はウェブのページのデザインのことですよね。

**○山川委員** デザインというか……。

**○奥岩委員** それとも検索サイトでやったときにトップで上がってこないということですか。

**○先灘議会事務局長** というふうに捉えたんですが。インターネット中継を見たいときに、それを入力してもなかなか出てこない。

**○山川委員** いやいやそれじゃないです。エンジンということではないことです。グーグルとかヤフーとかで米子市議って入れたら、何個が出てくるときに検索がということですか。いやいやそうじゃなくて、米子市のホームページに入ると、左側にがーと議会とかいろいろあるじゃないですか。その中で議会でカチッとインターネット中継に入ると、そのときに緑色のインターネット中継とかと出てくるのがわからないですか。それをクリックしないと入れないんですよ。そのことです。だからまたここに来て、これで終わり、終わりなんだという形になってしまうというふうに言われるので、そこから入れないと。

**○伊藤委員長** 矢田貝委員。

**○矢田貝委員** 米子市議会のホームページに、前はインターネット中継というのは左のところに3センチ、4センチぐらいであったのが、ほかのところと同じところで左下のところに黒文字の太文字で今13ポイントぐらいですかね、収まっていて、あとそこを見つ出すのが難しい……。

**○山川委員** そうそう、字も小さいですし。

**○矢田貝委員** ホームページからの場所と。

**○伊藤委員長** わかりました。そこのところをもうちょっとわかるように。

**○山川委員** わかりにくいということです。だから、裏サイト中の裏サイトだなと。

**○伊藤委員長** 先灘局長。

**○先灘議会事務局長** 全体的に見にくいと思います。一般的なホームページ、米子市議会のホームページが使いにくいというのは私も感じております。ですので、いろいろな御意見をいただきまして、改善はしてみたいと思っておりますので、いろいろ御提案させていただいたり、意見をいただいたりして、よりよいものにさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

**○伊藤委員長** ありがとうございます。それでは、長谷川次長からあつた用語の説明と条

例等例規集ですけれども、それも含めてまた皆さんに御意見をいただくということにさせていただきたいと思います。改善できるところはどんどん改善するというので。また、皆さんもほかのホームページを見て、より調査をしていただいて、御提案していただければと思います。

**○伊藤委員長** 先灘局長。

**○先灘議会事務局長** 差し当たり、先ほどインターネット中継ございましたけれども、9月定例会予算決算委員会の総括質問をインターネット中継をしますので、そこらの米子市議会のホームページのあり方についてもしておかないといけませんので、とっかかりが本会議のネット中継もありますし、委員会のネット中継もあるので、そこらまた秘書広報課とも調整しないとイケないですので、そこらまた御提案させていただいて、ネット中継の中でも本会議と委員会がありますので、今回が初めてでございますので、また御提示したいと思います。

**○伊藤委員長** いいですかね。ではそのような形でまた皆さん御提案をよろしく願いいたします。具体的に言っていただければと思いますので、よろしく願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、以上で広報広聴委員会を閉会いたします。

**午前 11 時 08 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 29 条第 1 項の規定により署名する。

広報広聴委員長 伊 藤 ひろえ